

令和4年度高浜地区戦没者追悼・平和祈念式典が執り行われました。
初めに、戦没者への追悼と世界の恒久平和を祈念し黙とうを捧げました。



続いて、高浜地区社会福祉協議会会長、高浜地区遺族会会長の献花並びに戦没者追悼・平和祈念のことばを述べ、来賓、遺族会員など参加者による献花が行われました。



講演では、出雲市内で活動している「二胡十二月坊」の皆さんに、紙芝居「きせきのやしのみ」を二胡の演奏とともに上演いただきました。



「きせきのやしのみ」は、フィリピンで戦死した出雲市出身の兵士が、亡くなる前に戦友の名前を書いたヤシの実をフィリピンの海へ流し、31年後に大社町の漁港に漂着し、亡くなった兵士の妻のもとへ届いたと言う実話が基になっています。